

平群

Heguri

≡議会だより 6月定例会

No.257

平成28年8月1日

発行:奈良県平群町議会

第6回定例会(6月)

議決結果・質疑あれこれ	2~5
議会の動き・議員提出議案	5
町政を問う!一般質問	6~11
町の話	12



3人制バスケットで熱い戦い(「3×3平群CUP」6月19日開催)
ハイ

第6回定例会 こんなことが決まりました



第6回定例会が6月7日～17日まで11日間の会期で開かれました。初日は、町長提出案件6件が上程され、即決しました。

一般質問は14、15日に行われ、11名の議員が質問しました。

最終日は、町長から清掃センター仮置き焼却灰撤去工事の請負契約締結の議案が新たに提出され即決。その後、議員提出の議案、意見書が審議され、「議会議員の報酬を20%引き下げる条例の一部改正」は賛成多数で可決、「安心してあずけられる保育の質の確保を求める意見書」は賛成少数で否決、「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書」は全会一致で可決しました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対 *欠席 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	森田勝	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	下中一郎	馬本隆夫	山田仁樹
町 長 提 出 議 案	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん
	専決処分の承認を求めることについて (平成28年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所使用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成28年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町公共下水道6号幹線3工区工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	清掃センター仮置き焼却灰撤去工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	ま せ ん
	安心してあずけられる保育の質の確保を求める意見書(案)	否決	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	
	次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

専決処分の承認

平成28年度平群町住宅 新築資金等貸付事業特別 会計補正予算（1号）

平成27年度の実質収支が1024万8千円の赤字になったため、28年度予算で繰上充用（補填）するもの。なお、単年度収支は16万7千円の黒字でした。

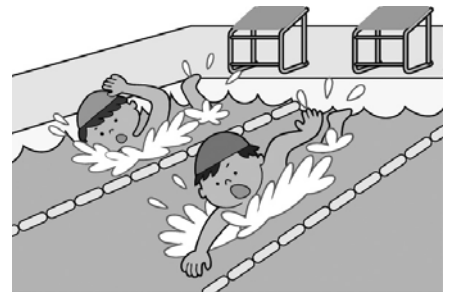
主な質疑

質問

3月議会の時点では単年度収支も赤字予測と言ったことが、黒字になった要因はなにか。

答弁

3月に滞納分約200



万円の一括償還があったこと、繰上償還が90万円あったことによるもの。

質問

年度末の償還残高、滞納額、返済終了件数はどうなっているのか。

答弁

償還残高は4159万8449円、滞納額は9083万1411円、返済終了は総数208人のうち174人となっている。

専決処分の承認

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（1号）

27年度の同会計実質収支が2675万2千円の赤字になったため、28年度予算で繰上充用

（補填）するものです。

主な質疑

質問

制度変更の平成20年度から黒字が続き、25年度には2億5千万円前後の剰余金があった。それが26、27年度の2年間で約2億9600万円もの赤字になった要因はなにか。

答弁

医療費の伸びと、高齢化がさらにすすむなかで前期高齢者交付金の割合が減ってきたこと、退職者医療制度の縮小が大きな要因と考えている。

質問

決算全体が明らかになる9月議会に、今後の見通しも含めきちんとした分析をしてほしい。

答弁

当然、分析は必要と思っている。

質問

昨年度の実質収支が赤字になったことで、今年度予算も大きく狂ってきている。予算上の赤字はどれくらいか。

答弁

予算どおり進めば2億3300万円の赤字になる予測です。

質問

住民の理解を得た税改正が大事。国保税の改正条例はいつ頃の予定か。

答弁

国保運営協議会や議会の協議を経て、12月議会には提案したい。

平群町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行により、小規模保育事業所並びに事業所内保育事業所の避難用階段の規定の変更を行うものである。

平群町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所使用料徴収条例の一部改正

子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、ひとり親世帯と多子世帯の保育料負担について軽減を拡充するものです。

ひとり親世帯は、これまで、

町民税所得割課税額が2万8千円未満の世帯について月額保育料を第1子は千円軽減、第2子は第1子の半額、第3子は無料でしたが、その対象課税額を7万7100円までの世帯に拡充し、第1子を千円減額の半額に、第2子以降を無料にするもの。

多子世帯は、町民税7万7100円未満の世帯について、多子の年齢制限（1号認定13歳以下、2号・3号認定10歳以下（就学前））を撤廃するもの。

主な質疑

質問

第1子の考え方について説明を。

答弁

地方税法の扶養親族という考え方と同義で、扶養していれば年齢は関係なく第一子ということになります。

質問

対象者の拡充と影響額はどのようになるのか。

答弁

対象者は26世帯32人増加に、影響額は年間29万7千円程度と見込んでいる。

次ページへ続く

質疑あれこれ

6月議会に上程された議案及び
質疑を紹介します。

質問 対象者への周知はどのようにするのか。

答弁 改正は4月1日に遡って実施。周知は7月の広報に掲載するとともに、対象世帯に個別に通知する。新たな対象者への保育料返還は8月を目途に行いたい。

質問 拡充による町の負担増の財源はどのようなのか。

答弁 国の基準による負担増は地方交付税に算入される。町単独の部分は町負担で年間約3万円と見ている。

平成28年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

平成30年度からの国保広域化(都道府県化)に伴う準備のためのシステム改修経費120万円を予算措置するもので、財源は全額国庫補助です。

平群町公共下水道6号幹線3区工事の請負契約の締結

吉新地区の平群駅北側踏切か

ら線路をまたいで東へ約179メートル、下水管を敷設するもので、契約額は6244万1280円。施工業者は榊高岸です(指名競争入札)。

主な質疑

質問 何社を指名したのか。そのうち町内業者は何社か。また落札率は。

答弁 指名業者は11社、うち7社が辞退され4社で応札。最低制限価格での落札で、落札率は86.2%。町内業者は指名していない。

質問 近鉄の線路をまたぐということ、なにか町の規定があるのか。

答弁 踏切下の推進ということ、踏切内の薬液注入とか、地盤を固めるような作業もあるので、近鉄と協議した上で、近鉄の指定業者という形で指名している。

質問 町内に近鉄の指定業者はないのか。最低価格での落札ということだが、くじによる決定か。



答弁 町内に近鉄の指定工事店はない。落札はくじでなく、最低制限価格の応札が1社だった。

清掃センター仮置き焼却灰撤去工事の請負契約の締結

清掃センターに仮置きされたままの高濃度ダイオキシンを含んだ焼却灰を撤去するための工事の請負契約を締結するものです。一般競争入札の結果、大栄環境(株)(神戸市)が7151万7600円で落札。

主な質疑

質問 この焼却灰撤去の総予算は2億4500万円、すでに随意契約で決まっている残灰搬入委託料(処分費)なども合

わせると1億8711万4千円で5千万円以上さがることになる。残りの灰について、来年度以降の予算見込みは。

答弁 残りの一般廃棄物の灰の処分は大阪湾フェニックスで予定している。今年度中に慎重に計画を立てる。

質問 残りの1万ト。民間は処理費が高いので、処理費の安いフェニックスでということだと思う。フェニックスには自治体ごとに割当量の枠があるので、その枠を拡大するために努力することか。

答弁 そのとおりです。

質問 以前の委員会、分離発注してはどうかという意見もあったが、その点はとなったのか。

答弁 分割することで経費が大きくなることや、施工上の安全対策や環境面での責任の所在の明確化ということも考え、工事については1本で発注した。

質問 入札は何社か。工事や焼却灰の搬出に伴う地元対策

は。

答弁 4社が手をあげたが応札は2社。両社が最低制限価格だったのでくじで決まった。交通整備員の配置とか、十二分に安全対策については努める。

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正(議員発議)

議会議長、副議長、議員の報酬を今年7月から議員任期満了の平成31年4月30日まで20%カットするものです。

主な質疑

質問 町財政を逼迫させた責任は議員にあるのか。

答弁 (提出者) 町財政の編成権、執行権は町当局にある。

質問 3月議会には「報酬審議会の答申を尊重して15%カット」ということでした。今回の20%カットとの整合性はどのようなのか。

答弁

答申は、20%のカットを基本に「広く理解を得るために15%」としている。審議会の基本は20%と私は解釈している。

質問

審議会の答申を信用されて、それを踏まえて15%カットを3月議会に出された。今回、審議会の答申を蹴って20%カットを出された理由の説明を。

答弁

昨年6月に20%カットを発議した。もつそのことがまた元へ私の心として戻っているわけです。そういう意味だと理解していただければ結構。

反対討論

若い人たちが議員専業でも生活が成り立つ、月額29万円、年収で470万円は最低限必要だと思う。報酬カットは自らの議員の仕事を軽んじている。

この発議の提出者・賛成者（6人）の平均年齢は67.8歳になる。このままでは若手がいなくなるのではないのかなと危惧する。そして悲しく思う。

若い世代の議員が増えることはこれからのまちづくりにとって非常に大事。報酬を切ることが「オール平群」に繋がるのか理解できない。

賛成討論

報酬等審議会の答申を尊重し、任期の4年分で15%なら、3年で20%は妥当。町民への超過税率、職員給与や議員歳費のカットを元に戻すために、真剣に町財政の健全化をめざさなければならぬ。

29万円は高くないと思うが、町民に無理をしてもらっている分を返したい。何とかせんといかん時期であり、議員もその先頭に立って向かっていくべきなので賛成。

議員報酬のみが多数の民意に離反して削減なしの現状。議員自らが率先して1番先に身を切ることが第一義と考える。

本来報酬はそうそう簡単に削減すべきではないが、20%とい

議会の動き

議会運営委員会

5月25日

* 第6回定例会の議会運営について

7月 1日

* 議会だよりの規格について

* 執行後における政策評価について

* 先進地視察について

公共交通対策特別委員会

5月25日

* コミュニティバス運行事業の現状報告について

全員協議会

6月24日

* 太陽光発電設備設置計画申請の概要について



う厳しい数字ではあるが、我々議員が身をもって、前へ持っていくというところで賛成する。

20%削減で（議会費で負担している）共済給付費負担金も含め平成31年4月までで4125万円の財源が助かる。

議員提出議案

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

提出者 高幣 幸生
賛成者 山本 隆史

窪 和子 城内 敏之
馬本 隆夫 下中 一郎

（原案可決）

安心してあずけられる保育の質の確保を求める意見書（案）

提出者 植田 いずみ
賛成者 稲月 敏子

山口 昌亮
（否決）

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書（案）

提出者 窪 和子
賛成者 高幣 幸生

（原案可決）

町政を問う! 一般質問一覧

山口 議員	1. 農地への産廃の不法投棄について 2. 町財政の現状と今後の見通しについて	高幣 議員	1. 若葉台ローズタウンの土砂工事について 2. 町役場の地震等の防災と耐震診断は
下中 議員	1. 地域活性化に銀行を	山本 議員	1. 安心・安全な暮らしを守る「ゾーン30」の推進について
植田 議員	1. 東山駅にエレベーターの設置を 2. 子育て支援・定住化促進施策で元気な町に	城内 議員	1. 新教育法について 2. 明光興産跡地について
馬本 議員	1. 県水100%受水にむけての進捗状況について 2. 公益財団法人平群町シルバー人材センターの移転について 3. 完了まぢかの平群駅前整備事業について 4. 平群町行政職員給料資格基準について 5. 平群町公共交通空白地域の解消について	井戸 議員	1. まちの安全、ナンバーを隠す車両に対する罰則を定める条例を 2. まちの安全、防犯対策メールの配信を 3. まちの安全、平群町の有するブロック塀の耐震点検を 4. まちの安全、金網フェンスの破れを定期的にチェックし、修繕を 5. まちの安全、役場本庁舎の耐震を
窪 議員	1. 道の駅・食文化の発信拠点としての取組みは 2. 認知症対策としてGPS型高齢者徘徊感知機器の貸与拡充を	森田 議員	1. 西山間部等の造成工事の進捗状況は 2. 町道大井手線の改良を 3. 町内のナラ枯れ被害は
稲月 議員	1. 住宅開発予定地（福貴）の太陽光発電所設置転用計画について 2. だれもが安心して通行できる生活道路、歩道に改修する計画について		



榎原地域の農地に相当
以前から、建設廃材と見
られる廃棄物や土砂が搬
入されているが…

質問



山口 昌亮

農地への産廃の
不法投棄について

①土砂の表層部に一部、
産廃を確認したが、全体
として土砂であり、明確
な廃棄物処理法違反であ
ると判断できない。無断

答弁

②土砂がいつから搬入
され、町はどのような対
応をしたのか。
③この農地の状況を一
刻も早く改善する必要が
ある。町としてどのような
措置を講じるのか。

者の立会のもと現場を確
認した。廃棄物の撤去・適
正処理と、農地性の回復
などに向け、県と連携し
て指導していきたい

③今年4月に県と事業
者の立会のもと現場を確
認した。廃棄物の撤去・適
正処理と、農地性の回復
などに向け、県と連携し
て指導していきたい

転用で農地法違反の疑い
があると考えているが、
県に確認すると、土地所
有者の了解にもとづくも
のであるかなど、現在に至
るまでの経過の聞き取り
等の詳細な調査を進めた
うえで、違法性の判断を
するつもり。

地域活性化に銀行を



質問



下中 一郎

本年3月に策定された平群町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、本町の喫緊の課題である人口減少と地域経済の縮小をいかに克服するかである。

その総合戦略を推進するにあたり、民間活力を最大限活用し、住民・NPO・企業等と連携・協働しながら進めていくとなっている。その企業との連携・協働について、

答弁

本町の住民生活や地域経済と最も密着している金融機関と連携協定の締結をすべきと考えます。

連携内容は、企業誘致の協力・雇用促進・特産品によるブランド作りなどの産業振興や、観光・教育・環境など様々な分野が考えられます。

まずは、地域活性化に銀行を一役を旨に連携協定の締結に取り組むべきと考えるが。

総合戦略で掲げた戦略は、まち・ひと・しごとの好循環をもたらすものであり、行政の取り組みだけでは、その成果が十分に達成できないことも考えられる。起業支援や融資・地域経済分析といった専門的な見識をもった金融機関との連携協働は、その成果を大いに期待できると考えられるので、連携協定の締結を早急に進めていきたい。

東山駅に

エレベーターの設置を



植田いずみ

質問

現在、署名は6200

筆を超えています。近鉄に第1次分3000筆、第2次分2841筆(合計5841筆)を提出し、「東山駅にエレベーター設置を求める会」が懇談をおこないました。近鉄からはエレベーター設置の必要性は十分認識しており、重く受け止めている。乗降客数だけでは判断しないことや具体的な計画はまだ決まっ



ていないとのことでした。また会として生駒市、奈良県、平群町とも懇談し陳情書を提出されています。

バリアフリー法に照らして、地域の実情では近大病院があること、平群

答弁

6200筆の署名は重く受け止めている。早急に生駒市と協議をする中で、町が負担でき得るものであれば検討していかなければと考えている。

町は高齢化率が高く、移動手段が車から鉄道に移行することを考えると設置自治体の生駒市と生駒市負担の半額約600万円位は町としても負担を考え早急に協議を詰め、一日も早くエレベーターが設置され、安心して駅を利用できるよう、町として積極的な交渉を生駒市、近鉄とおこなっていただきたい。

県水100%受水にむけての 進捗状況について



馬本 隆夫

質問

平群町上下水道課がH27年3月に安全で良質な水道水を将来にわたって安定して供給し続けるために「平群町水道事業ビジョン」を策定されました。

本町の自己浄水場は3施設ありますが、夏場に稼働停止や、井戸水の取水能力の低下等、稼働率が非常に低い状況にあります。又、県水道の



受水費が値下げになったため、3浄水施設を更新した場合、浄水単価と県水受水単価を比較すれば、県水受水単価の方が安価となります。

槻原浄水施設の取水源は藤城池で、地元水利組合と5年間の取水契約をされており、H29年9月末日に更新時期となります。

そこでお聞きします。更新契約を考えているのか、又は、更新せず奈良県営水道の受水100%を考えているのか、どちらですか。なお、県水100%の考えならば、現在までの進捗状況と今後の取り組みについてお答えください。

答弁

藤城池取水権契約は更新せず、自己水施設である3浄水施設を廃止し、H29年10月1日より県営水道100%への転換を予定しております。

道の駅・食文化の 発信拠点としての取り組みは



窪 和子

質問

「道の駅大和路へぐり」は17年前に開設され、奈良県内12か所の道の駅の中でも年間販売額はトップクラス。「平群の魅力と食文化の発信拠点」として地域活性化の要となる重要な役割があります。

(1) 売れ筋No.1の「おかず味噌」などや、地元商店品をさらにPRし販売促進を

(2) お味噌の原材料である大豆も町内産を活用

しブランド力を高めては

(3) おかず味噌などの特産品を学校給食や子ども園で食材提供しては

(4) 特産品等の宣伝・販売促進について、ふる



さと納税の推進による返礼品の増加を

答弁

(1) 販路促進のため、進物用化粧箱の作成や、町特産品コーナーを設置する。地元商店品もさらにレストランの食材として使用し宣伝したい

(2) 町内産の大豆が使用できるよう検討する

(3) 食育の観点から「おかず味噌」や地元産の加工品についても導入していきたい

(4) 4月にブランド認定された「ご当地ジェラート」もできたて工房で販売できるよう検討する。他の特産品も返礼品の品揃えに加えていきたい

安心して通行できる生活道 歩道の改修計画を



稲月 敏子

質問

①住民が毎日使用する生活道路が穴ぼこ、つぎはぎのまま放置されているという苦情が多い。このような状況は危険かつ、「住みたくなる街」とは言い難い。早期の改善が必要と考えるが計画を示して欲しい。

②旧基準でつくられた歩道は幅が狭く、高さは道路から15cm以上、道路との交差点も段差はそのまま、車椅子やシル

答弁

バーカー、ベビーカーは通行不可。高齢者、障害者など弱者にとって通行困難となっている歩道（若葉台に目立つ）の改善計画を示すこと。

①平成24年度実施の道路ストック総点検の結果に基づき、路線ごとに損傷等を考慮、優先度をつけ、国の補助メニューを活用、計画的に打ち替え工事等を実施している。毎月2回道路点検、補修等も実施し、今後も地域住民の要望等に柔軟で迅速な対応を行っていく。

②幹線路線から優先順位を付け、計画的に実施している。引き続き緑ヶ丘循環路線や、若葉台を通る中央循環路線の歩道改修を計画的に実施していく。道路環境整備は道路管理者としての責務と考えている。

若葉台ローズタウンの 土砂工事について



高幣 幸生

質問

5月連休前から若葉台ローズタウンで開発が始まる。この開発は太陽光発電設備と聞くと、町は情報を明示して欲しい。昨今のマスコミ報道住民に知らせるのか。

答弁

本年4月頃に大阪の㈱太陽設備から太陽光発電施設の設置の事前相談があった。現在、設置に係る宅地造成等規制法に基

づく工事の許可申請の段階である。事業概要は、計画面積3万457㎡・パネル設置面積1万5500㎡で発電量は一日当たり1万4962Kwです。県は許可権者であり、審査・許可・不許可の処分を行う立場です。町は近隣住民への説明を指導しており、5月30日には、町、事業主、奈良県が、現地に必要な防災対策等の協議を行い、事業主に近隣住民の理解を得るよう地元説明会の開催を指導した。工期は早ければ年内に完了させたいと聞いている。



安心・安全な暮らしを守る「ゾーン30」



山本 隆史

質問

ゾーン30とは、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて最高速度30キロメートル毎時の速度制限を実施することにも、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路

対策です。

菊美台地区の北側には病院があり、通院やお見舞いなどで町外県外からの車両が侵入、通過します。周回道路には速度制限の標識もなく、勾配があるためにスピードが出てしまいます。以前から菊美台自治会より標識の設置を要望しています。が、設置されていないのが現状です。

「ゾーン30」を整備する区域はどのようにして決められるのでしょうか？

答弁

地域住民の要望があり、地域住民、道路管理者、警察で構成される協議会を立ち上げるなど、住民の円滑な合意形成がなされるよう努めること、とされています。町としても地域住民の要望、病院に係るバスの運行や緊急車両への影響なども含め、決められています。

明光興産跡地について



城内 敏之

質問

突然長年放置された住宅開発予定地に、ユニボ

が入り周囲の住民を驚かせた。都市建設課に問い合わせると、太陽光発電施設の設計を目的とする測量のための必要な草刈り、伐採と聞いている、とのこと。

また現段階では、設計のための一部伐採で、しかも私有地内のことで、何らかの申請が出れば、県を通じて指導もできるが…。どのような規模で



行われ、当方の懸念する施工前から完成後の運行について、どこまで町として守っていただけるのかお聞きしたい。

答弁

事業主は、㈱太陽設備で太陽光発電の開発、施工運営、販売を行っている。

奈良県の許可認可の対象となり、本町としても県に対して、懸念される防災対策を指導すべく意見書を提出している。

また、工事中の安全対策についても、警備員の配置や問題が起らないように対策を講じるように事業者申し入れをしている。

早急に、工事の説明、期間中の安全対策などについて、地域住民へ説明する機会を作るよう申し入れている。町としても住民生活を守る立場から対応して参ります。

まちの安全、 役場本庁舎の耐震を



井戸 太郎

質問

先の熊本県の地震において、熊本県内5つの市町村の役所が使用できないという状況になった。築40年以上の役所が多く、危険な状態。

熊本県宇土市は5階建ての庁舎の4階部分がつぶれ、立ち入りが禁止になった。こうなった背景には様々な理由があり、築51年であること。小中学校の耐震化を優先したこと。耐震診断



を実施し、震度6以上の地震には耐えられないという結果が出ていたこと。

役場が、災害対策本部としての機能を果たすことが出来ず、悲しい限りである。

さて、平群町はというと、とても古い。役場の1番古い箇所が築58年になる。古い耐震基準で建築され、大地震が起きればひとたまりもない。職員の命にも関わる。

そこで、平群町として、この状態をどうすべきなのか、どのような術があるのか、いつ耐震化する予定なのかをお聞きしたい。

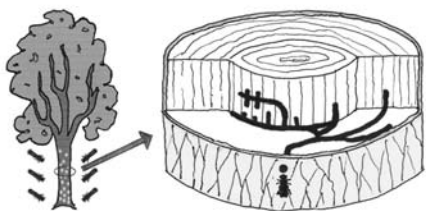
答弁

今後の公共施設のあり方について、「総合管理計画」を策定中である。平成28年度末には出来る。役場本庁舎についても、そこでしっかり協議していきたい。

町内のナラ枯れ被害は

質問

奈良県では平成22年に京都との境の北部エリアでナラ枯れの被害が最初



に確認され、昨年は奈良市や生駒市の住宅地でも害が出ている。

奈良県の平成26年被害量は900㎡だったものが、昨年は平成26年の3倍以上の2900㎡と、爆発的にナラ枯れの被害が増加している。

そこで、町内でのナラ枯れ被害の有無。また町の具体的な被害対策は。

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシ(体長5mm位)が媒介するナラ菌によって、ナラ類、シイカシ類の樹木が集団で枯



森田 勝

損、枯死する樹木の伝染病と言われており、特にミズナラ、コナラの高齢木、大径木が被害を受けている。

答弁

町内において、平成26年までナラ枯れ被害が確認されていなかったが、昨年、生駒山系、矢田山系の一部で被害が最初に確認され、生駒山系で2㎡、矢田山系で2㎡の被害があった。

町としては、県ナラ枯れ対策協議会等で県や市町村の被害情報の収集に努めると共に、効率的、効果的な防除対策を講じた。また住民には広報紙やHPで被害に対する注意を促していく。

県議長会研修に参加して

去る7月13日、奈良県市町村会館に於いて、奈良県町村議会議長会の正副議長研修があり、「安倍政権と日本の政治展望」というテーマで、政治ジャーナリストで日本経済新聞客員コラムニストも歴任されていた田勢康弘(たせ やすひろ)氏のお話をお聞きしました。

講演では、東京都知事の相次ぐ辞職に至る裏話や、参議院選挙中の候補者演説でよく「みなさんの声を国会で反映します」という言葉を使われていたが、「億全ての国民の声を反映する事自体無理であり、国民の代表者として政治に携わるといふ間接民主主義である事を理解していないのでは」と疑いたくなった

との話のほか、世界経済情勢や世界から見た日本経済の情勢と日本国民が思う日本経済状況のギャップについての持論や、地方創生において農業に対する思いや『あらゆる産業の中で一番大切なものは農業である』『後継者のいない責任は政治にある』という考え等、マスメディアにより本来の事実、状況、責任等が正しく伝えられていない事も含め、政治の使命、責任についてのお話を頂きました。

山田 記



編集後記

大阪市内から平群に移住し、ムシが怖いと泣いていた我が子たちも、いつの間にか彼らと友達になることが出来ました。

私は移住当時37歳。どれだけ寝ても睡眠時間が足りないと思う日々でしたが、最近では、野鳥の声が目覚めます。天然の目覚まし時計はとても心地よく、48歳となり、例外なく早起きになつてきたようです。

市内より50分離れたこの町に出会わなければ、日々の目覚めはどうだったのだろう? トラックの騒音や、隣人さんの目覚まし時計で起こされる毎日だったのか。

長寿の秘訣はよく寝ることとも言われますが、健康長寿日本一を目指す平群町、私はその条件が揃っていると思います。

ウグイスの

目覚まし訪ねて三千秒

(山本 記)



町の話 題



ジュディさんの英語DEおはなし会

「グッドモーニング」。元気な声がひびきます。

あすのす平群で年1回開かれている「ジュディさんの英語DEおはなし会」。今年で6回目を迎えました。今年は7月2日(土)に開かれ、27人の親子が参加しました。英訳でも出版され、子ども達によく知られている『ぐりとぐら』などの絵本を流暢な英語で読んでいるのは政本ジュディさんです。

ジュディさんはニュージーランド出身で、33年前に友達に誘われて来日。それまで関心のなかった日本でしたが、自然や歴史にふれ、大好きになりました。その後、結婚し子どもが生まれた29年前に「緑が豊か」な平群町に定住。ご主人と子ども4人の家族で、ご自身も大阪のインターナショナルスクールにお勤めです。

17年前に開館したプリズムへぐりで行われていた英語の教室、これは未就園児がゲームや歌で楽しみながら英語を好きになるようにと企画された教室で、講師を務められていたこともあり、古くから平群の町に関わっていただいています。

ジュディさんは、「年1回ですが、あすのすのスタッフと相談しながら、また、ボランティアのアシストもうけながら楽しくやっています。子ども達が笑顔になり、英語を好きになるきっかけになればうれしい」と話されています。

(山口 記)